



令和8年度

上尾市立小・中学校 教育指導 基本方針



— 夢を育み 未来を創る 上尾の教育 —

上尾市教育委員会

I 上尾市教育振興基本計画

【第4期 令和8年度～令和12年度】



1 基本理念

本市では、第3期上尾市教育振興基本計画において、おおむね10年先を見通した基本理念「夢を育み 未来を創る 上尾の教育」を掲げて、教育の振興に取り組んできました。

第4期においては、第3期に掲げた基本理念を発展的に継承し、一人一人が幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるウェルビーイングを、教育を通じて向上させることができるよう、本市の教育振興に取り組んでまいります。

夢を育み 未来を創る 上尾の教育

2 基本方針

基本理念である「夢を育み 未来を創る 上尾の教育」を実現させるため、本市の教育が目指す基本的な考え方として、次の3つの基本方針を定めます。

生きる力を育む ～すべての市民が、たくましく自立するための力を育てる～

つながり(絆)を深める ～すべての市民の絆を育み、そのつながりを深める～

学ぶ喜びを広げる ～すべての市民が、いつでもどこでも学びを広げられる～

3 「10」の目標

本計画の基本理念および基本方針を踏まえて、今後5年間（令和8年度～令和12年度）を通して、実施する施策の目標や方向性などを示すものとして、10の目標を定めます。

I 確かな学力の育成

VI 新しい時代の学びにふさわしい
教育環境づくりの推進

II 豊かな心の育成

VII 家庭・地域の教育力の向上

III 健やかな体の育成

VIII 生涯にわたる豊かな学びの推進

IV 自立する力の育成

IX 文化芸術の振興と伝統文化の継承

V 多様なニーズに対応した教育の推進

X 健康で活力に満ちたスポーツ活動の推進

II 学校教育における基本方針

各学校は、上尾市教育振興基本計画及び自校の定める学校教育目標に基づき、児童生徒が身に付けるべき資質・能力を育成する。

1 児童生徒が身に付けるべき資質・能力(目標)

(1) 確かな学力

- ア 生涯にわたり学習の基盤となる基礎的な知識及び技能
 - 進んで・集中して・協力して・継続して学習することを通して
- イ 課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等
 - 主体的・対話的で深い学びを通して
- ウ 学びに向かう力、人間性等の涵養
 - 非認知能力(自制心や自己効力感、勤勉性など)を高める取組を通して

(2) 豊かな心

- ア 自己を律することができる
- イ 他人を思いやることができる
- ウ 多様な考え方を認め、一人一人の多様な幸せの実現に努力できる
 - 道徳教育や特別活動、体験活動を通して

(3) 健やかな体

- ア 健康な体の保持
- イ 年齢に見合った体力の増進
- ウ 適切な食事と口腔衛生の推進
 - 体育・保健体育授業の充実、健康教育や食育の推進を通して

2 目標を実現させるための具体的な取組 (○:学校の取組 ◆:教育委員会の取組)

(1) 小中一貫教育の推進

ア 市全体での小中一貫教育の推進

- 学びの系統性と連続性を意識したカリキュラムを編成する。
- 地域レベルでの交流連携を推進する。

◆モデル校による研究の推進

イ 各中学校区での小中一貫教育の推進

- 小中一貫教育の視点を踏まえた教育課程を編成し、実施する。
- 各中学校区の目標及び手立てについて、評価・検証を行う。

◆先進事例の紹介も含めた教員研修の実施 及び 保護者・地域への啓発推進



(2) グローバル人材を育むことができる教育の推進

ア 小中9か年にわたる「英語教育」の充実

- 小中9か年の系統性と連続性を意識したカリキュラムの編成等、校内における英語教育をさらに推進する。
- 校内の教育活動全般で、ALTを積極的に活用する。

◆ALTの全校配置 及び 校外における英語活動の充実

イ 国際理解教育の推進

- 外国及び外国人との交流を積極的に推進する。
- 多様なルーツをもつ児童生徒、諸外国に対する理解を深めた学級・学年経営を推進する。
- SDGsに関する取組や多文化共生に関する取組を行う。

◆ロッキヤーバレー市との交流の継続 及び 国際交流団体との連携推進

(3) 学校における学びの進化

ア デジタルとアナログのベストミックスによる学習の充実

- ICT端末の持ち帰り、生成AI活用の日常化を図る。○これまでの学習(読み・書き・計算等)を大切にする。

◆「セカンドGIGA」に対応した機器、教材の整備充実 及び 学校ICT支援員の全校配置継続

イ デジタル・シティズンシップ教育の推進

- 児童生徒が自律的にデジタル社会と関わっていくための教育を推進する。
- SNS等を適切に活用できるスキルを育成する。

◆デジタル・シティズンシップ教育を行うための資料作成や研修の推進

(4) いじめの根絶に向けた取組の推進

ア いじめの未然防止に係る取組の推進

- いじめを未然に防止するための取組を着実にを行う。
- 学校の教育活動のすべてを通して、いじめを許さない、いじめに負けない心を育てる。

◆「上尾市いじめ防止子供サミット」等、いじめ根絶に向けた取組の積極的な推進

イ 「初期対応」に全力を尽くす

- 校内研修を通して、教職員の生徒指導力を向上させるとともに、いじめ発生時には、法令等に基づき、速やか且つ組織的に対応する。
- 児童生徒、保護者の声に真摯に向き合い、いじめを見逃さない体制を構築する。

◆学校との情報共有 及び 研修動画の作成、教職員の生徒指導力向上に資する効果的な研修の実施

(5) 不登校児童生徒数の減少を図る取組の推進

ア 不登校児童生徒を生まない取組の積極的な推進

- 誰にとっても居心地のよい教室、学級づくりに万全を期す。
- 予兆への対応を含めた初期段階からの組織的・計画的な支援を行う。
- 小中間 及び 教員間 並びに 家庭との情報共有を密にする。

◆教育センター 及び 関係機関、民間施設との積極的な連携

イ 不登校児童生徒の教室復帰または学校復帰に全力を尽くす

- SSR（スペシャル・サポート・ルーム）及びSRT（サポート・ルーム・ティーチャー）の効果的な活用を図る。
- ICTを活用した取組を積極的に取り入れる。 ◆学校適応指導教室 及び 人的措置の充実



(6) 体育授業の充実を核とした体力向上の推進

ア 体育授業の充実

- 児童生徒が身体を動かす楽しさを味わえるよう、「教師行動」「場・教材教具」「学習過程」を工夫し、運動量を確保した体育授業を実施する。

◆上尾市児童生徒体力向上推進委員会における授業研究の積極的な実施

イ 児童生徒の体力の向上

- 新体力テスト結果の丁寧な分析・考察を行い、児童生徒の実態に即した体力向上に係る取組を積極的に行う。
- ◆上尾市児童生徒体力向上推進委員会と各校設置の体力向上推進委員会等の連携強化（好事例の共有 等）

(7) 部活動地域展開の推進

ア 休日の学校部活動の地域クラブ活動への完全展開

- 休日の部活動を学校で行わない体制を整備する。
- アップ一部活動サポーター（ABS）等の活用を進め、平日の部活動を適切に継続実施する。

◆「上尾市における部活動の地域展開に向けた基本方針」に基づく、事業周知及び体制整備の推進

イ 上尾市認定地域クラブ活動「AGEO地域クラブ」の充実・発展

- 参加を希望する生徒（児童）が、安心して参加できるようにする。
- 「地域の子供が地域で活動できる」環境づくりを進める。

◆AGEO地域クラブ統括コーディネーターとの連携 及び 財政的支援の拡充



(8) 地域と一体となった教育の推進

ア 学校運営協議会の積極的活用

- 熟議をするための思考ツール「アクションプラン」を基にした学校運営協議会の活性化を図る。
- 学校運営協議会が「主体」となって行う取組を実施する。

◆学校運営協議会委員に対する研修の実施

イ 地域人材の積極的な活用 及び 地域との連携

- PTAまたはそれに代わる組織等との連携を進める。
- 自治会や民生委員、児童委員等との連携を進める。

◆自治会や青少年育成団体等との連携推進

(9) 働きやすい、働きがいのある職場環境づくり

ア 教職員の負担や時間外在校等時間の縮減の推進

- SSS（スクールサポートスタッフ）や学校ICT支援員等の積極的な活用を推進する。
- 教育課程のスリム化をさらに推進する。

◆校務支援システムの充実 及び 発出通知等の縮減の推進

イ 働きやすく働きがいのある職場への発展

- 誰もが安心して意見を言える、温かく風通しのよい職場づくりを進める。
- 職員の健康や安全を守る。

◆学校からの各種相談に対応し得る体制の整備

